

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

19 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/<http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

悲しいことが続きます

副会長 山田 勝彦

FAR 会の皆さんお元気でお過ごしでしょうか。7 月下旬頃までは比較的涼しく、今夏は有り難いことだと思っていました矢先、8 月に入るや記録更新の猛暑日が続き、まさに丸焼きの日本列島となりました。それにしても最近の地球は変ですね。温暖化が進み、ヨーロッパ中南部での摂氏 45 度という恐ろしい熱波、また中国での大洪水。わが日本でも先日の新潟県中越沖地震、そして沖縄をおそった台風 4 号など、被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。幸いなことにも、FAR 会の会員の皆様の中には、これらの地域におられる方が見当たりませんでしたので少しは安堵しています。



さて、わが FAR 会にも大変に不幸な出来事が続きました。後の頁に追悼文を掲載しましたが、去る 7 月 4 日、兵庫県川西市にお住まいの FAR 会員、石山忍先生が前立腺腫瘍で逝去されました。私も長年の友人でもありましたので、告別式に参列させて頂きましたが、66 才の若さはまさに痛恨の思いでした。

それから 10 日ほど経ちました 7 月中旬でした。学会の福西事務局長から訃報のメールを頂きまして、驚くことにも石山先生と同じ 7 月 4 日、東京都のやはり FAR 会員、大谷英尚先生が肝臓腫瘍でご逝去されたとのこと。どうして 100 名ばかりの FAR 会で、このような奇縁なことがおこるのでしょうか。どうしても信じられなく、橋本会長にも確認の電話をさせていただきましたが、間違いのない事実でした。大谷先生は学会長こそなされませんでしたが、長年に亘って日本放射線技術学会理事、そして監事等の学会の役職を歴任され、学会に残された功績には誠に大きいものでありました。詳しくは後段の平林先生の追悼文をご覧頂きたいと思います。

ここに、お二人の先生に対しまして FAR 会員一同、心よりお悔やみ申し上げます。

今年の秋の FAR 会は名古屋市で開催される秋季学術大会に合わせて、「2007 伊勢心のふるさと集い」として伊勢市鳥羽で開催されます。予定では翌日に伊勢神宮に参拝することが計画されています。どうか FAR 会の皆様、万難を排してご参加頂き、これ以上の不幸なことが絶対に起こらないように皆様が参詣しようではありませんか。お待ちしております。

内 容

1. ごあいさつ 副会長 山田勝彦
2. 「2007 伊勢心のふるさとへの旅」
3. 秋季学会へのお誘い 津坂昌利
4. 特集「無題」
 - 1) 地方からの発言～耳の痛い話～ 川上寿昭
 - 2) 私のおもちゃ箱 佐藤孝司
 - 3) 私の趣味と自慢の記録 土井邦雄
 - 4) お礼とご挨拶 藤田 透
 - 5) 最近学んだ事 松井美楯
5. 追悼「大谷英尚先生を偲んで」 平林久枝
「石山忍さんのご逝去を悼む」 山田勝彦
6. JSRT 情報
7. 会員動向
8. 会からのお知らせ
9. 第 20 号原稿募集 (特集、会員投稿)
10. はがき通信欄
11. 連載《四国八十八ヶ所霊場巡り⑩》
「広さで圧倒讃岐路の札所 75～82 番」
遠山坦彦
12. 編集後記